



岩槻幼稚園・2025年度11月号

<2025年度11月の聖句>

「神は愛です。」 ヨハネの手紙Ⅰ 4:16

～心にとめて～

11月になりました。やっと涼しくなったなあという日々もあっというまに過ぎてしまって、上着がないと外出できないくらい寒くなってしまいました。最近インフルエンザなど、色々なウイルスや病気が流行ってきました。手洗いうがい消毒、換気などを徹底しながら、みんなが健康に、安全に過ごせるようこれからも気をつけていきたいと思います。

岩槻幼稚園の生活の中心には、神さまにおささげするお礼拝があります。ぼくはこのお礼拝のじかんを楽しみにしています。なぜかという、岩槻幼稚園のおともだちは、よくおはなしを聞いて、自分で考えて、びっくりするような豊かな意見を投げ返してくれるからです。

神さまのおはなしのとき、あるおともだちが「それじゃあ神さまは何を食べているのかな?」と言いました。ぼくは牧師になるためにたくさん勉強したのですが、神さまが何を食べているかなんて考えたことがありませんでした。すると別のおともだちが「雲じゃない?」と言いました。そしたらまた別の子が「たしかに、神さまはお空にいるもんね」と。こんなふうにはなしがもりあがると、みんながそれぞれの意見を自由に出しあう瞬間があります。このときが、とっても楽しいのです。

岩槻幼稚園のおともだちは、おとなのぼくがとても思いつかないような、自由に柔軟で豊かなところをもっています。みんなの意見がとてもおもしろいのは、誰かから聞いたはなしをなぞったものではないからです。ちゃんと自分で考えて、疑問を見つけて、気づいたことをことばにすることができます。この力は、これから長い人生を歩んでいくうえで、なくてはならないものです。

毎日めいっぱいあそびこむなかで、たくさんのものを吸収して育っていることを、お礼拝の度に感じます。ぼく自身、教わることもたくさんあります。お礼拝は、せんせいとみんなが神さまに見守られながら、いっしょに学び合う、たいせつなじかんなのです。

岩槻教会牧師・岩槻幼稚園園長 清水 義尋

<今月のねがい> — 神さまありがとう・気づく —

- ・庭の木々や周りの自然から秋の深まりを感じ、秋の収穫を神さまに感謝する
- ・友だちと気持ちを通じ合う経験も、祈りあいをつける経験も重ねながら、友だちと関わって過ごすことをより楽しおようになる
- ・色づいた葉や木の実から季節の移り変わりによる自然の変化に気づく。そして、実際に見て触れ、製作やごっこ遊び等に活かす

